

これまでの降水状況と今後の見通し

平成 21 年 6 月 12 日
気 象 庁

1. 西日本の 4 月以降の降水状況

4 月～5 月上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。5 月中旬以降は天気は周期的に変わったものの、低気圧は日本海を進むことが多くまた発達することも少なかったことから顕著な少雨となっている。4 月 1 日～6 月 10 日までの西日本の降水量は平年の 70%未満のところが多く、四国地方や中国地方山陽等では 50%未満のところがある。

なお、西日本では、6 月 9 日頃に平年より 3～11 日遅く梅雨入りした。

図 1. 平成 21 年 4 月 1 日～6 月 10 日の降水量平年比 (%)

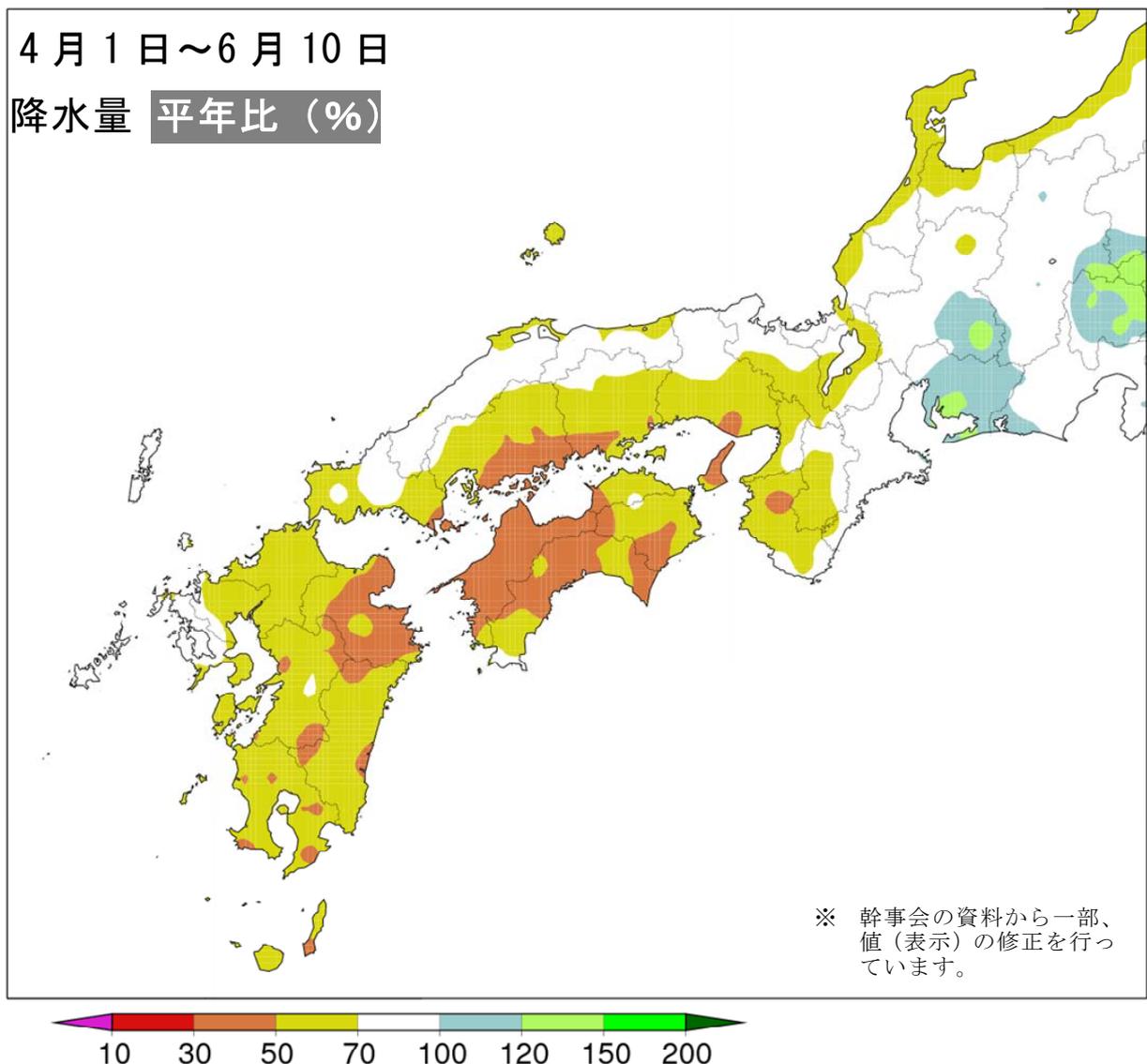
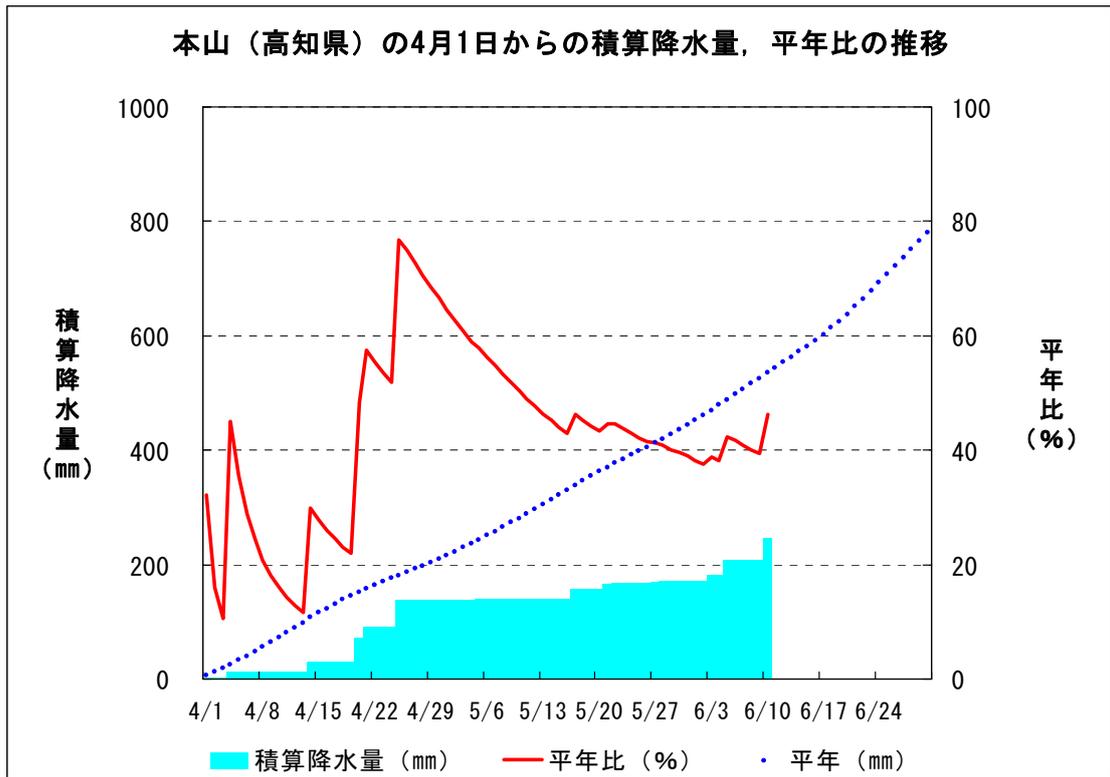


表1. 西日本における平成21年4月1日～6月10日の降水量平年比(%)
小さい方からの30地点(気象官署+アメダス)

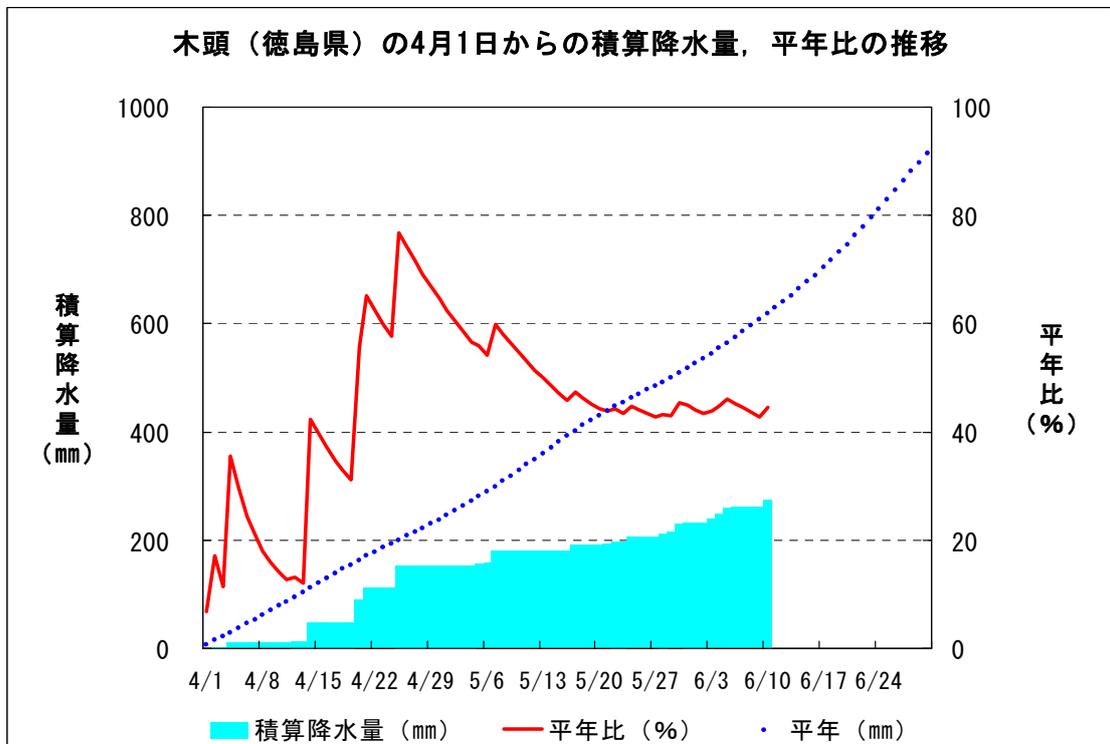
都道府県名	市区町村名	観測所名	4/1～6/10までの	
			降水量 (mm)	平年比 (%)
愛媛県	大洲市	大洲(オオス)	115.0	32
愛媛県	八幡浜市	八幡浜(ヤワタハマ)	119.0	35
愛媛県	西予市	宇和(ウワ)	156.5	35
愛媛県	大洲市	長浜(ナガハマ)	113.5	36
岡山県	笠岡市	笠岡(カサオカ)	86.0)	36
大分県	臼杵市	臼杵(ウスキ)	128.5	38
愛媛県	四国中央市	四国中央(シヨクチュウオウ)	99.0	38
大分県	大分市	大分(オオイ)	127.5	38
愛媛県	新居浜市	新居浜(ニイハマ)	96.0	38
大分県	佐伯市	佐伯(サイキ)	155.0	39
愛媛県	伊予市	中山(ナカヤマ)	139.0	40
広島県	竹原市	竹原(タケハラ)	102.0	40
愛媛県	西条市	西条(サイジョウ)	114.5	40
愛媛県	松山市	松山(マツヤマ)	117.5	40
和歌山県	有田川町	清水(シミズ)	175.0	40
大分県	別府市	別府(ベツフ)	162.0)	41
愛媛県	久万高原町	久万(クマ)	153.0	41
高知県	高知市	高知(コウチ)	263.0	41
高知県	室戸市	佐喜浜(サキハマ)	372.5	41
大分県	豊後大野市	犬飼(イヌカイ)	142.0	42
広島県	福山市	福山(フクヤマ)	107.0	42
高知県	馬路村	魚梁瀬(イナセ)	371.5	42
兵庫県	淡路市	郡家(グンケ)	110.0	42
高知県	いの町	本川(ホンガワ)	282.5	42
鹿児島県	枕崎市	枕崎(マクラサキ)	235.5	43
大分県	大分市	佐賀関(サガノセキ)	150.5	43
高知県	四万十町	窪川(クボカワ)	303.0	43
大分県	佐伯市	宇目(ウメ)	185.5	43
徳島県	三好市	池田(イケダ)	114.5	44
広島県	尾道市	生口島(イクチジマ)	103.0	44
山口県	周防大島町	安下庄(アゲノジョウ)	178.5	44
愛媛県	今治市	大三島(オオシマ)	108.0	44
大分県	臼杵市	出羽(イスルハ)	174.5)	44
宮崎県	高千穂町	高千穂(タチホ)	186.5	44
愛媛県	今治市	今治(イマハリ)	113.5	44

「) 」は資料の一部が欠測等により欠けていることを示す。

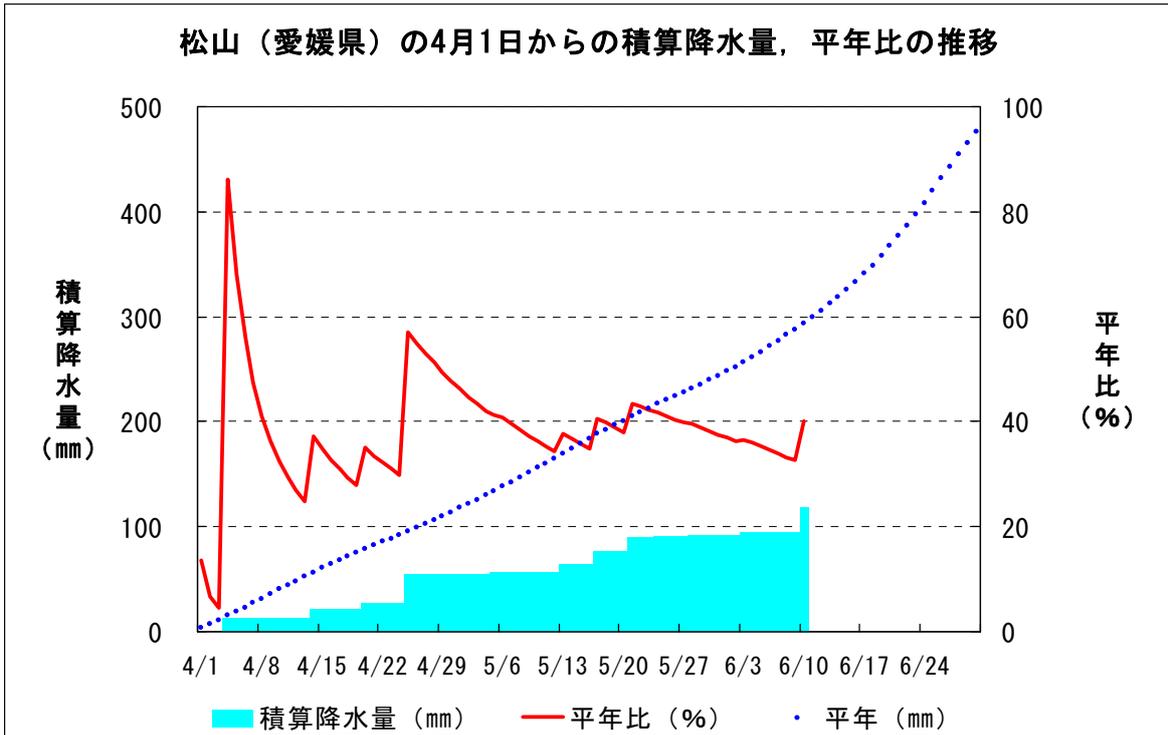
図 2. 影響の顕在化している地域の降水量



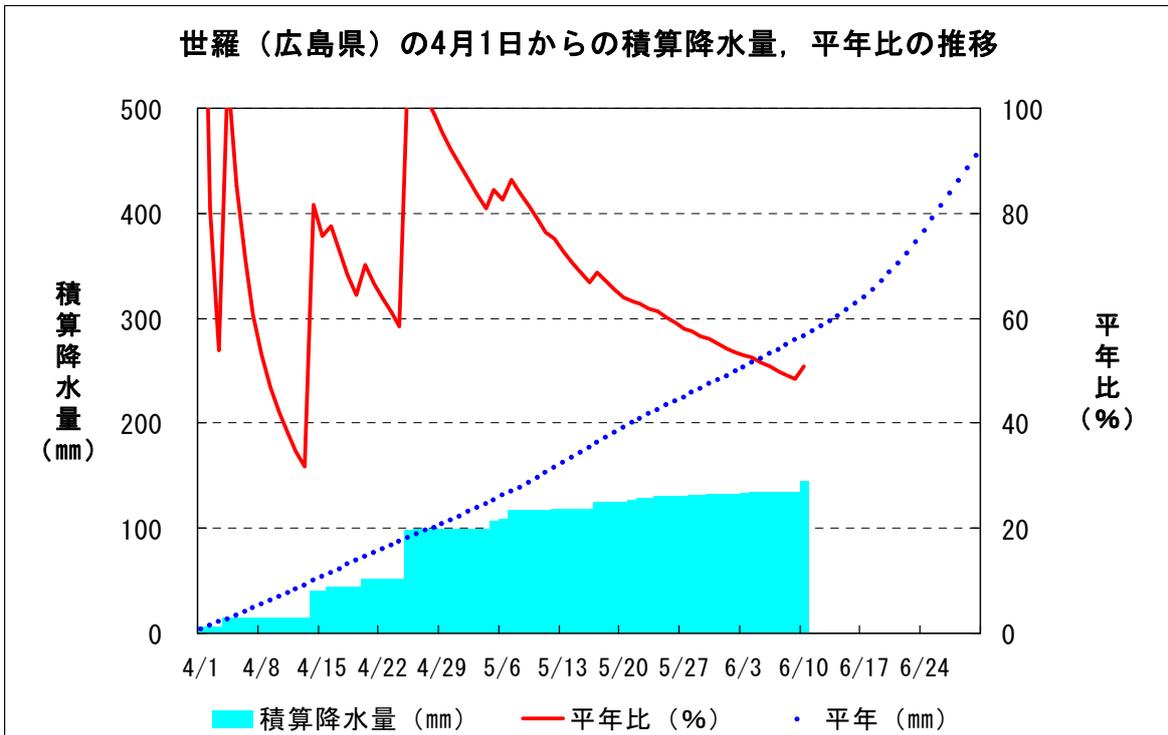
高知県早明浦ダム付近の降水量



徳島県那賀川上流の降水量



愛媛県松山の降水量



広島県八田原ダム上流の降水量

2. 少雨に関する気象情報

4 月半ばから、関係機関等との情報交換を行なうなど、状況の把握に努め、影響が顕在化してきた 5 月 25 日に、「西日本の少雨に関する全般気象情報 第 1 号」を公表した。その後も、適宜、少雨に関する情報を発表し、状況と見通しを伝えるとともに、水の管理等の注意を呼びかけている。

なお、6 月 15 日に少雨に関する全般気象情報、九州北部地方気象情報、中国地方気象情報、四国地方気象情報をそれぞれ発表する予定である。

表 2. これまでに発表した少雨に関する全般気象情報、地方気象情報、府県気象情報

(平成 21 年 6 月 11 日現在)

全般情報	気象庁	6 / 1	西日本の少雨に関する全般気象情報 第 2 号
		5 / 25	西日本の少雨に関する全般気象情報 第 1 号
地方情報	福岡管区気象台	6 / 2	少雨に関する九州北部地方（山口県を含む）気象情報 第 1 号
	広島地方気象台	6 / 1	少雨に関する中国地方気象情報 第 2 号
		5 / 25	少雨に関する中国地方気象情報 第 1 号
	高松地方気象台	6 / 1	少雨に関する四国地方気象情報 第 2 号
		5 / 25	少雨に関する四国地方気象情報 第 1 号
沖縄気象台	5 / 15	沖縄本島と八重山地方の少雨に関する沖縄地方気象情報 第 1 号	
府県情報	延べ 20 回の府県気象情報を発表		

3. 今後の降水の見通し

・ 6月14日（日）から6月19日（金）の1週間の見通し

向こう1週間の降水量は、西日本では平年より少なく、四国地方などでの渇水の状況が改善するようなまとまった雨の降る可能性は小さい見込み。

向こう1週間の天気は、西日本では、晴れ間の広がる日もあるが、気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすい見込み。

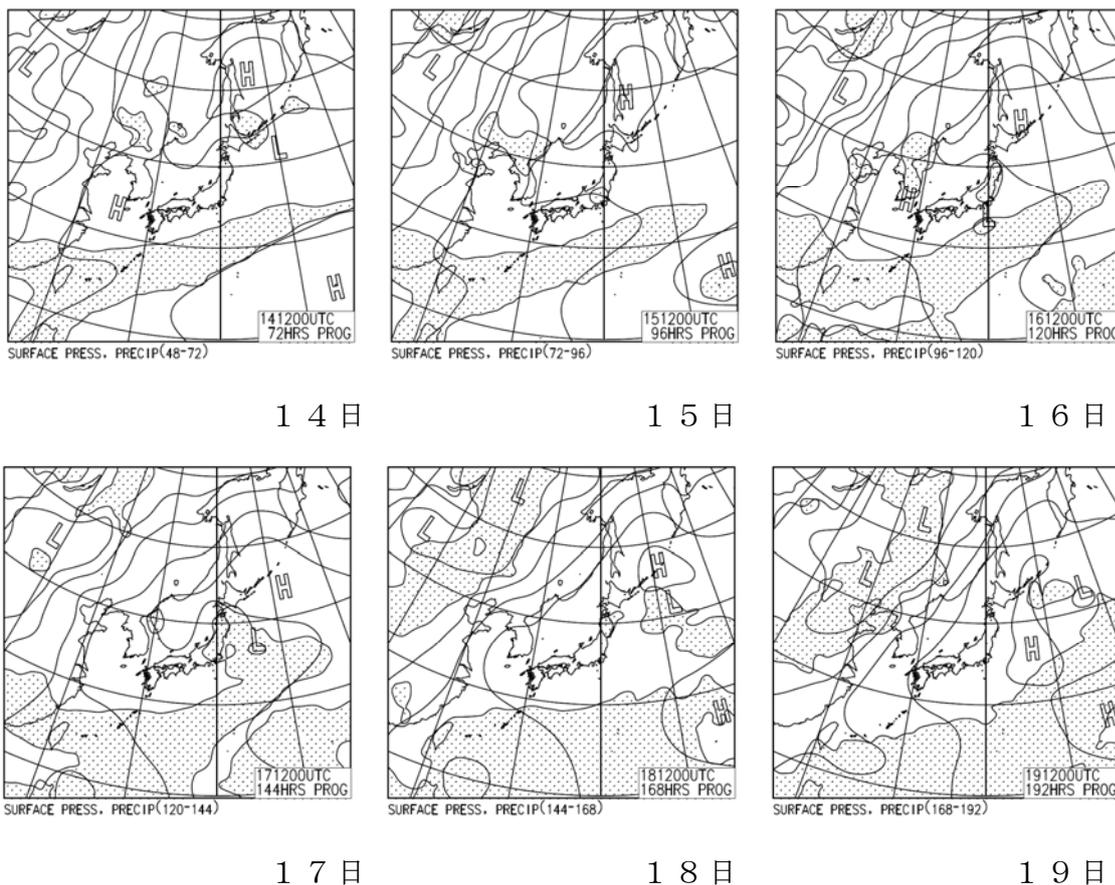


図3. 6月14日（日）から6月19日（金）の予想地上天気図と降水域の予想

* 網掛け部分：降水域

・ 向こう1か月の見通し

東日本、西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みですが、予報期間前半を中心に降水量は平年を下回るでしょう。北日本では、天気は数日の周期で変わる見込みです。沖縄・奄美は、前半は曇りや雨の日が、後半は晴れの日が多いでしょう。

4. 今後の対応

今後も、引き続き、適宜適確な情報発表を行なう。関係機関（各都道府県、河川管理者、水資源機構、農政関係機関等）との一層の連携を図り、水の管理等の注意を促す。